

● 世界の主な火山活動

平成 26 年（2014 年）11 月に噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。

フォゴ (Fogo) カーボヴェルデ (図中 A) 標高 2,829m

11 月 23 日午後にはフォゴで 19 年ぶりに噴火が発生した。フォゴでは噴火の数週間前から火山活動が高まっており、前日の夜には居住地域で体を感じる複数の地震が発生していた。この噴火活動は、爆発的な噴火、溶岩噴泉及び火山灰の放出が特徴的な活動であった。約 700 人の住民がカルデラ外へ避難し、地方空港が閉鎖となった。また、溶岩が流下し、幹線道路を寸断するなどの被害が発生した。

その後も噴火は継続し、11 月 30 日午前には噴火活動が激しくなった。溶岩が 1 時間あたり 20m の速度で流下し、国立公園とカルデラ内の主要な町を結ぶ代替道路も閉鎖となった。同日、カルデラ内の全ての住民に避難が通告された。溶岩流により、約 25 の住居、広範囲の農地、博物館及びその他の社会基盤が破壊された。



図 平成 26 年（2014 年）11 月に噴火した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ “Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。